

THE
KANSAI
UNIVERSITY
NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会
大阪府吹田市山手町3丁目

第107号



画・田中行雄工学部教授

関西大学志す人をちへ

学 長 大西昭男



きょう入試本番の日です。君が待ちに待った日、恐れに恐れていた日です。しかし、君にとって格別の意味を持った今日という日も、物理的に経過していく「時」のひとつとしては何の変哲もない一日です。試験開始のベルが鳴って、机の上の置かれた君の時計の秒針は正確に秒を刻み、分針は確実に分を刻み始めます。終わってみれば、今日という長い一日も過ぎのひとときとなっていきます。はたして君が、この何の変哲もない一日を、君にとって格別の一日とする事ができたかというところが問題です。容赦なく「時」をききみつけよう出来たか、これが大事なことだ。

「時」は、ただ時計の針のまわりの経過していくかで見えます。しかし、人間の内的な時計は必ずしもそのような経過に従うものではありません。動物が、規則的な内的リズムに合わせて活動しているとは、古くから観察され記録されてきたことです。二十世紀の科学は、生物の体内に一種の時計のようなものが存在していることを突きとめて、今では「生物時計」という言葉をも科学者の間で広く使われるようになってきました。しかし、そういう専門的知識とは隔りなしに、私自身の過きつ方を振り返って見れば、私は私なりに、自らの内的な生命のリズムに従って、生きてきたことをしばしば感じたものです。必ずしもそれは、科学者たちの言うような、生物一般に共通の、あるいは少なくとも人間であるがゆえに共有するリズムといったものではありません。そういう共通の大きなリズムに一方では従いつつも、他方においては、個体としての私の成長発展のために私なりに創り出してきた小さな、ささやかなしかし独自のリズムがあるということです。

今日という特別な日、君たちもまた一人ひとりがそれぞれに違うリズムに従って、違う「時」を持ちつつあります。それがどんなリズムなのか、どんな「時」だったのか、それを自問するいとまもゆとりも、今の君自身にはないでしょう。君は今、それこそ無我夢中でしょうから、それも致し方ないことです。君たちよりも数十年の「時」を余計に生きてきたからと言って、私の「時」を以って、君の「時」を推しはかるとは私も思いません。

「邯鄲の枕」という話は君たちも知っているでしょう。あるいは「邯鄲の夢」とか「黄梁一炊の夢」として覚えていたことでしょう。五十年の栄華の夢も、ふと目が覚めてみると、黄梁の粥が炊き上がったという話です。能楽の「邯鄲」では、主人公の青年、盛生は「身の大事を尋ねば」と思いついて、落陽山飛山の理窟のもとへとやっていくことになっていきます。その原典となった『太平記』では、「富貴を願ふ」となっています。さかのぼってその原典である唐の伝記小説「枕中記」では、「功を建てる名を樹て、出でては將、入りては相」たらんとする大志を抱いてのこととなっています。同じ話の同じ主人公が、それぞれに少しずつ違つ望みを胸に抱いて登場してゐることは、今日の君たちそれぞれの胸の内の少しづつの違いを思わせます。

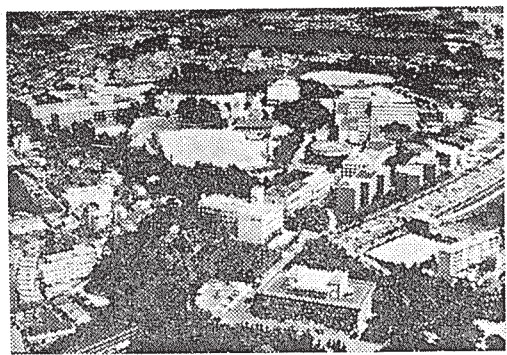
貸し与えられた仙術の枕で一睡する間に、盛生は官途に就き官位を歴随して大臣の位にまで昇ります。能楽の「邯鄲」では、たちまち皇帝の位に迎えられる。主人公——能楽では「シテ」というのですが——が栄華の極みにあつて舞う「夢中の舞」は能楽にあつても見えないものとして描かれていますが、やがて描り起されて、「盛生の夢をみて」といつかききう起きあがるといふもまた見えないもの、聴きえないものとして描かれています。「盛生は夢をみて、五十（いそ）の春秋の榮華も忽ちたまた然と起きあがりて」と「地謡い」(コーラス)がついてくるように来る、私は能楽で、いつも自分が大臣大将になつたわけでも、皇帝の位に上つたわけでもないのに、思ひ引き入れられていた栄華の夢から私自身が描り起されたように感じます。

君たちはいま邯鄲にさしかかるとしてゐる青年盛生です。大臣大将か、皇帝の位に昇らせてくれる仙術の枕が貸し与えられるかどうかは判りません。ともかくも今日「邯鄲」にやつてきた一人ひとりの盛生が、それぞれの夢を見ることになるでしょう。夢とはいつても、それは数十年前をきき切つて、描り起され、ふり返つてみてはじめて「ああ夢だったのか」と言ふものです。されば、そのことを遊手にして夢に入るまでは、その夢の中では、それこそ無我夢中の「時」を生きたければなりません。あるいは富貴を求め、またあるいは榮華を求め、あるいは道徳を求めて、ひたすらいつかの夢の中を生きて行かねばならない。そして一朝夢をみて、それだけに、あつた夢であつた、意識的な夢であつた、ふり返るべき出来なければなりません。その身一つに生きる「時」を生きた盛生を思い、ひるがへして、それぞれの「時」を生きてゐる君たちを思い、私もまた今日という日の大事を更によく考えてみたい。それぞれの生命のリズムを内に秘めて、それぞれの「時」を創り出していつとつてゐる君たちが、わが関西大学の生命の更なるリズムを、わが関西大学の更なる「時」を創り出していつとつてゐるべき。

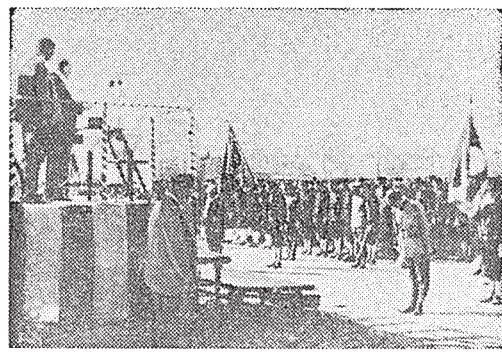


新春のテレビに日本が「世界一」になったものを当てさせるクイズ番組があった。日常生活で接する身の回り品など、その普及率や生産高でいまやなんと多くのものが「世界一」になっているとか。そのなかには十年ほど前にはとてもそうなると思われなかったものも含まれている。そういえば、一昨年は「ジャパン・アズ・ナンバーワン」というような、アメリカ人の書いた本がベスト・セラーの一つとなって、われわれをあっという間に世に知らせてくれたものがある。わが国自動車業界が昨年十二月明らかにしたところによると、日本車の年初来の生産台数は、史上初めて一千万台の大台数を果し、年産が八百万台強と推定される「自動車王国」たる米國を抜いて、「世界一」の座につくことが、事実上確定した。これに先だって十月には、日本鉄鋼業界は日本の粗鋼生産量が年産一億二千万トン余に達すると推定し、米國の年産九千八百万トンの推定額を抜いて、「自由世界一」になるであろうと発表した。第二次大戦終了直後、わが米國の百分の一程度しかなかったことを思つて、さきの自動車と並んで驚きの一語につぎ添へよう。

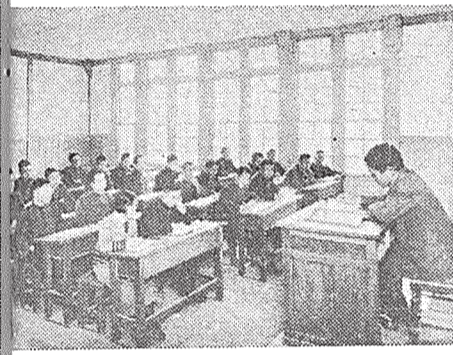
た話は、何かわれわれ日本人の心のすみをくすぐるようなものである。だが、われわれの回りを社会的に見わたしてみよう。このような「世界一」を生み出した他の面での立ち遅れが多く発見されるのにはがっかり。日本の「世界一」そのものが、そのすべてがそうでないにしても、いろいろな意味で、弱い立場のもの、社会的に扶助を必要とするもの、明日のためのもの、人間らしく生きるためのもの等々を犠牲にして成り立っているように思われてならないのである。(S・Y)



現 在 の 関 西 大 学



太平洋戦時下、全大阪学徒報国
隊結成式に参加



前列の女性は、大正12年入学の学園最初の女子学生北村兼子さん

関西大学の歩み

明治

- 19・11・4 大阪市西区京町堀・願樂寺に関西法律学校
を設立。
24・5 大審院を児島惟謙（本学創立関係者）大津
事件に關し政府の干渉を退けて、司法權の獨立を爭
つる。
36・11・18 専門学校令より、専門学校として設立認
可。



明治20年から同36年までの16年間、校舎として使われた興正寺

大正

- | | | | |
|----|---|---------------------|-----------------------|
| 13 | 4 | 財団法人 関西大学 改組改称。 | |
| 3 | 4 | 千里山學舎（子科校舎）が落成。現存の大 | |
| 1 | 3 | 學院舎の場所へ。 | |
| 11 | 6 | 5 | 大学令により関西大学の設立認可。法政部 |
| | | | （法律科、政治学、商学部（商業学科）の二部 |
| | | | 部を設け、さらに全学科を併置。 |
| 12 | 9 | 男女共学を実施。 | |
| 3 | 4 | 大学部商学部に経済学科を増設。 | |

昭和・戦前

2. 6. 5 千里山大学を創設。昭和29年、現在の「一学舎建設のための取組」による。
3. 4 大卒に法文学部文科学科を開設。千里山大学書館完成。
4. 4 大学院を開校。
4. 9. 15 天文学部完成。
8. 12. 1 文庫院決定、定員は100名とする。
1. 12. 1 文庫院決定、定員は100名とする。
16. 12. 1 太平洋戦争は止まる。
18. 12. 1 このころより各大学へ学徒出陣。
20. 8. 18 戦争終結。

【昭和・戦後】

- 23.3.25 新制四西学承認され、法・文・経済・商
の四学部設置
26.8.1 学務法人「関西大」に改組改定。
工・学部を設置。
33.4 社会学部設置。
40.4 大学院設置基準に準じ「博士課程の大学
院（組織変更）」
56.2 在学生総数「第一部 法・文・経済・商・
社会・工」の学部、「第二部 法・文・経済・商社
会の五学部」大学院附設せし約二〇、〇〇〇名

②「二十世紀文獻要覧大系」
(日外アソシエーツ編)——この

と付称されている。

吉川 直

「人文系論文作成」のための
参考文献を採す
利用しやすい
シリーズ目録

年が約一千年程前、ドイツに
 築かれ、日本では約十数年前
 取り上げられ、アメリカで上
 におくれて、エクスセルギー
 れてきたが、エクスセルギー
 はエスルギーに比、難解で、
 上解説した書物も無く普及が
 られた。この時期に本書
 版された事は誠に適切な事と
 にたえない。

本書は六章から成り立ち、
 ず、第一章でエクスルギーを
 易に解説し、第二章では実用
 についてエクスセルギーの考

消滅や散逸していくことを解るとともに防止対策を述べ、章でエクセルギーを用いて、プランに共通した解析方法を

汗云
得
相解

は方
のの
々の
書は

らに第五巻で、いさゝか近代
プリントを解説し、最後の章
エネルギーに対してエクセル
をう活用するかにについて述
ある。エネルギーに関心をも
の読をおすすめしたい。

(斎藤健)



言は
の時
かつ
やけ
煙の

煙の

▶ 編集後記

例年のごとく、二月は入試
大学の教職員はそれにむけ
取り組む。社会的にも試験
めぐって、多くの話題を提
している。ここでは視野を

くして、人生におけるシケ
という課題で、人生経験に
む先生方に筆をとっていた。
いた。

「同和对策事業特別措

「法」の界限切れをめぐってとくに二人の先生に特別寄をお願したので熟読あらことを。またA・S・ギブズ生」私の『日本人論』は

原子の形はぼろぼろである。すなわち、原子は不

翻訳の手をへず原文のまま録した。その意図されることを、英語の表現からくみとていただければ幸いである。この「通信」は関大受験

にも配布される。どのよう
眼が紙面に注がれるか、期
に胸がふくらむ。

(角山・言僊)

七
三
少
之
紹
下

宿泊料	600円
朝食料	300円
昼食料	500円
夕食料	500円

配慮するべきであらう。飛鳥といふ立地条件に恵まれ、静寂のなかで虫の音を聞きながら先生の講義や討論に花を咲かせようが、また時間を割いて自転車を購入し、史跡をめぐることもできる。ときには盆を重ねて、議論に夢になんご、真夜中におよぶ、闇

關西大學飛鳥文化
研究所・植田記念館



料金三〇〇円、昭和五十六年二月現在）。なお吉野線飛鳥駅より徒歩でいくことも可能で、約四十分一時間で達する。またタクシーもあり御宮駅より約一、三〇〇円であるが、天氣の良いときは、飛鳥の山道を散策しながらのものが良い。

利用申込みは、関西大学教育会館一階事務室で二週間まえより受付けている。週末や学期の始めと終わりの時期は、予約が重なることが多いので、あらかじめ空いている日を問い合わせて日程を組んでおくことよい。なお料金は表の通りで、申込時に全額納入することになっている。

旧著「刑法総論」も手堅いものであったが、本書は単にその内容アップ・シートにたよるのではなく、いくつかの点で重要な改訂がなされている。学問的探究への著者の変わらぬ情熱学みまきものが多いであらう。

（米田泰典）

経済学部教授 橋本昭一著
「バチカンの
行動原理」
（ユルベ出版・九八〇円）

本書はビルデフランド・マニヤールらの研究をはじめとして、経済学史、経済社会学において

「エクスセルギー」
入門」

(オーム社・二四〇〇円)

全エネルギー資源の70%を
に依存し、その石油のほとん
べてを輸入に頼っている我が
は、七三年の石油ショックを
本格的に省エネルギーが囁
ている。

そもそもエネルギーには
核、熱、電気等、さまざま
態があるが電気エネルギーは
全部が仕事に変わることで
が熱エネルギーはカルノーの
ように二部分のみが力学的仕

石油とす
國で機に
られ

原字の形は、
「原」は
「源」とも
通ずる。

してゐる。こゝでは視野をく
くして、「人生におけるシケ
という課題で、人生経験に
お先生方に筆をとっていた
いた。」

「同和対策事業特別措
法」の期限切れをめづつて
とくに二人の先生に特別寄
を依頼したので熟読あらう
ことを。また A.S.ギブズ
生の私の『日本人論』は
翻訳の手をへず原文のまま
録した。その意図されるこ
を、英語の表現からうみと
ていたければ幸いである。
の『通信』は関大受験
にも配布された。このように

すでに多數の業績を発表して、著者が、近代から現代にかけてカトリック教会の四人の教皇を中心として、社会回勅の時代的な

ギーから取り出すことのできる論的可逆の最大有効仕事に相当する状態量——すなわちエント

眼が紙面に注がれるか、期に胸がふくらむ。

(角山・言信)

▶ 編集後記 ◀

